萬歲諷諸神柱立

完

208
663

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

初編

208
663

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

一、數之始也象陽。いちつつ〳〵もんだのはーや〳〵

凡字の皆 いちそろって 万字まを 生ス於此ニ まるざ

ゆさくるるこよいせん
あくまんざいの
いつもうらくぬつ
いっくよ十日の
わかこねりり
そもそも日のくもよ
風みけやまで日ごろ
でもひこられセぬめで
さくらいそ夜の巳
らくそねろく
よむうそいつ
ろんのそらちや
いるり大ゆ祢ぐみ
ろくまひ一年
中よ一日でもるよ
一つそくあ一つ
いちめんなんじゃそくよ
いちをみそよくるいちそろのぐけて
めでたくまりらんまいろり

いざ韋駄天

こんでも
そろえるぐけて

いそくのぐ

一里塚も
くるのうえのふ

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

以陽之一ヲ合以陰之二ニ
天地人道也

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

賽銭箱

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

従一至五謂生數
従六至十謂成數
天五
陽之數
三五七九
積數二十五
也
地五
陰之數四六八
十積實
三十
也

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

積三五而謂之九老陽

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

圖碁の十ゆう

日本記

書の十さの

十ろんのそう

十ぶんのそう

十ぶんのそう

十ぶ

梅の十一ちるも
ちりろいるぐめぐ

十一初んのもちらハ十一めて
そうそんぜちんぐろけ
そうそうのひ十月い
そろそうけていなく
ぐいーのまだく
のうえをおれそうま
ちびとれのいそひよ
志そんもちんじやろぐさうへ
十一日いくびくさうんもひく
るとろろそびを
めでくく
まんのろ
くんまの
る

年行事

乙角

十二天の
えへんも
もろち
のりちぐ

十二初んのもちらをハ十二神一
うけそを
十二うんのつぐうくひゆう
一もそろく十二ろろ十二
てくし
もちりろく十二えそ
もものよを
るくそるあ
るさの十二そく
二そろりのてう
うろは十二ところ
まだぐれも
十二のかぐよ
まのちさめ
のそくさを
めでくく
まん
りぐそ

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

十二カ月のそらをそろへ
まつ先とくそられろいまこ
とくよめでたきろぐいのいを
うのろの
なよせよ
くさえそろ
をやまと
つこあげ
それいさみい
どづこと
つきやぬ
庚申そでゆさ
くよくさこの
けらくまたのむ
ろろつづこころふも
まあもさこのあんろく
百万年のろらろひと
めでたらら

森羅亭戯作

二代目春町画

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

208
663

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用

国立国会図書館　万歳諷諸神柱立 2巻 208-663

ガラス使用